

## 山陰海岸ジオパークにおいてソーシャルメディアが果たす役割 The role of social media in San'in Kaigan Geopark

新名 阿津子<sup>1\*</sup>  
Atsuko Niina<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 鳥取環境大学  
<sup>1</sup>Tottori University of Environmental Studies

3 府県 6 市町をテリトリーとする山陰海岸ジオパークでは、行政界を越えたジオパーク活動を推進するにあたって、ソーシャルメディアが果たす役割は徐々に大きくなっている。実際、マスメディアは府県ごとに異なるため、ローカルコミュニティが受け取るジオパークに関する情報は地域的に限定されたものとなっている。一方、Facebook や twitter を用いた情報発信や情報共有が 2011 年ごろから始まり、そこで形成された人的ネットワークに基づき、新たな活動が行われるようになってきている。そこで本報告では、まず鳥取県で発行されている新聞（地方紙・全国紙）を用いて、そこで報道されている山陰海岸ジオパークに関する記事の分析から地域的な偏りを明らかにし、Facebook から生じた新たなジオパーク活動の事例を紹介する。最後に、山陰海岸ジオパークにおいてソーシャルメディアが果たす役割について検討する。

キーワード: ソーシャルメディア, 新聞報道, 山陰海岸ジオパーク  
Keywords: social media, newspaper, San'in Kaigan Geopark